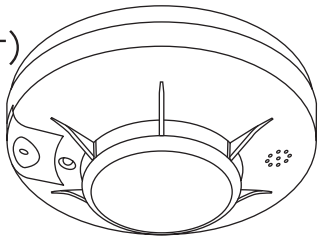
TN51007 ①

取扱説明書・施工説明書 （保管用）（保証書付）

住宅用火災警報器
（煙式 自動試験機能付）

まもるくん



AC100V 用（コネクタ式）

FSKJ207-AB(-J)［移報接点なし］
FSKJ207-AS(-J)［移報接点付き］

末尾に「-J」が付くものはカラーがライトブラウン、
付かないものはカラーがナチュラルホワイト

日本消防検定協会 鑑定合格品

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ず、この「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用ください。なお本取扱説明書は大切に保管してください。
この取扱説明書は保証書をかねています。

NOHMI 能美防災株式会社

まもるくん 保証書

型名	FSKJ207-AB/AB-J/AS/AS-J
保証期間	1年間
※お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 お名前 様 電話（ ） ー
※販売店	住所 店名 電話（ ） ー

販売店様へ ※は必ず記入してお渡しください。

見本

NOHMI 能美防災株式会社
本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南 4-7-3
URL http://www.nohmi.co.jp/

取扱説明書

1. 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、まもるくんを安全にお使いいただくとともに、使用者やその他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。
注意事項は次のように区分しています。

禁止事項		禁止行為であることを示します。 （左図は分解禁止です）
指示事項		行為を強制することを示します。 左図は「強制」（必ずしてください）を示します。

●安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される場合**
	配線工事や結線工事など取付/取外作業は、 **電気工事士の資格を持った人が行うこと**
	分解・修理・改造をしない 火災や感電・けがおよび故障の原因になります。 また、落下などにより衝撃を与えた機器は使用しないでください。

（つづく）

（つづき）

	水をかけたり水洗いしない また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。 感電・ショート・故障の原因になります。
	ぬれた手でまもるくんを触らない 感電・ショート・故障の原因になります。
	設置されているまもるくんの作動確認をすること 設置されているまもるくんが正常に作動しているかテストボタンを使用し、確認してください。
	劣化したまもるくんの使用禁止 設置後10年を超えた場合や機器異常警報音が鳴った場合、または煙感知部が著しく汚れている場合は速やかに新しいまもるくんに交換してください。
	ブレーカー「切」状態などの無通電状態でまもるくんを使用しない まもるくんに電気が流れていない場合、火災が起きても作動しません。
	安定した台を使用すること 安定した台に乗って作業してください。転落してけがをするおそれがあります。
	炎や煙草などの煙でテストしない ライターなどの炎や煙草などの煙を使用してテストを行わないでください。 まもるくんの性能に悪影響を及ぼすだけでなく、火災の原因となります。

（つづく）

（つづき）

注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される場合**
	くん煙式の殺虫剤などを使用する場合はまもるくんを保護すること 誤報につながるだけでなく、まもるくんの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。 ビニールなどでまもるくんを、おおってください。作業終了後は速やかに、取り除いてください。 おおっている間は、火災を感知できません。
	殺虫剤、ヘアースプレーや煙草の煙などを直接まもるくんに吹きかけない 誤報につながるだけでなく、まもるくんの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。
	コンロなどの近くで油煙や水蒸気がかかりやすい場所には取り付けない 誤報につながるだけでなく、まもるくんの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。
	煙感知部に触らない 煙感知部はとても精密に作られています。著しく汚れた場合は、無理に掃除せず、新しいまもるくんに交換してください。

2. ご使用になる前に

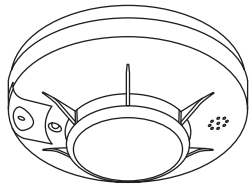
1. 設置されているまもるくんの通電灯（緑）が点灯していることを確認してください。
   ⇒まもるくんに電気が流れていない（停電時など）ときは、通電灯（緑）は消灯しており、火災を感知できません。
2. このまもるくんは、火災時に発生する煙をキャッチして警報音と警報灯（赤）でお知らせする住宅用火災警報器です。消火や火災防止の機能はありません。火災などによる損害については一切責任を負いかねます。
3. まもるくんは、日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法に定められた自動火災報知設備としての代用はできません。
4. まもるくんは取り付けた部屋や階段などで発生した火災（煙）を感知するものです。

確認事項

1. 次の場合、警報音に気が付かないことがあります。
   ①薬服用後、または飲酒後などの睡眠で熟睡しているとき
   ②就寝部屋以外でまもるくんが作動しているとき
   ③交通、ステレオ、TV、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きいとき
2. 次の火災では作動しないことがあります。
   ①火のまわりが早い火災
   ②煙の発生しない火災
   ③ガス漏れや薬品などによる爆発火災
3. 火災発生時を想定し、以下の事項を同居者全員で確認してください。
   ①テストボタンを押し、まもるくんが作動したときの音の確認
   ②避難路の確認

3. 特 長

●煙を感知し火災を発見!!



まもるくんは、初期火災の煙をキャッチし、警報音（ピー、ピー、ピー…）と警報灯（赤）で火災をお知らせする住宅用火災警報器です。

●自動試験機能付き!!

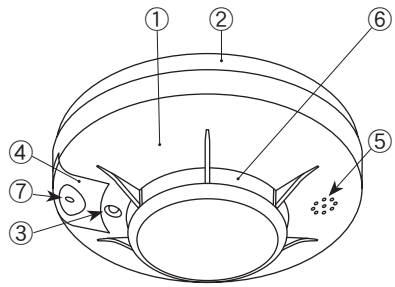
まもるくんは、センサ部の感度劣化を常時チェックし、異常を警報音（ピピピ）と警報灯（赤）にてお知らせします（自動試験機能）。

※機器異常警報音が鳴りましたら、販売店またはお客様相談窓口へご連絡していただき、速やかに新しいまもるくんに交換してください。

●就寝を妨げないように通電灯（緑）の明るさを配慮!!

4. 各部の名称

①まもるくん本体
②取付ベース
③通電灯（緑）／警報灯（赤）
（2色LEDを使用しています）
通電灯（緑）と警報灯（赤）は、同一LEDです。
④警報停止ボタン
（テストボタン兼用）
⑤警報部
⑥煙感知部
⑦ひも用穴



引きひもを取り付けることができます。
取り付けた引きひもを引くことで、ボタン操作と同じ操作ができます。
引きひもを取り付ける場合、能美防災（株）までご連絡ください。

5. 警報の種類とその対処方法

通常時
通電灯（緑）：点灯
警報音：なし

警報時は、通電灯(緑)が消灯します。

火災警報(煙感知)
警報灯（赤）：点灯
警報音：ピー、ピー、ピー（連続）

警報音が鳴っている場所を確認する

火災の場合
①住居内にいる全員に火災を知らせる
②速やかに避難する
③119番通報を行う

火災ではない場合
①警報停止ボタンを押して警報音を止める
②周囲に火災でないことを知らせる

機器異常
警報灯（赤）：3回点滅（1分ごと）
警報音：ピピピ（1分ごと）

警報音が鳴っている場所を確認する

警報停止ボタンを約5秒以上長押しすると警報音を約24時間止めることができます。

販売店またはお客様相談窓口へご連絡していただき、速やかに新しいまもるくんに交換してください。

6. 警報音の停止方法

注）警報音を停止する場合は、**必ず火災がおさまったこと、または火災でないことを確認してから警報停止ボタンを押すようにしてください。**

●「ピー、ピー、ピー」と鳴っている場合（火災警報）

警報停止ボタンを1回押すと停止します。

一度警報停止すると約5分間の間は警報音が停止します。なお、その間は火災が発生しても警報音が鳴りません。

火災警報音を停止中に再度警報停止ボタンを押すと、「ピピ」と鳴ります。

※約5分後に、再度警報音が鳴る場合は、うちわなどを使用して煙感知部内に残っている煙を排除してください。

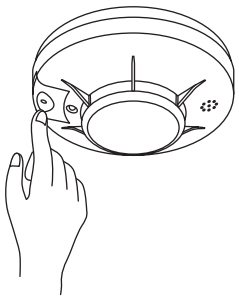
●「ピピピ」と1分おきに鳴っている場合（機器異常）

警報停止ボタンを約5秒以上長押しすると停止します。

約24時間の間は警報音が停止します。なお、その間は通電灯（緑）が消灯し、警報灯（赤）が約10秒間隔で3回点滅します。

機器異常の警報音を停止中に再度警報停止ボタンを押すと、「ピピ」と鳴ります。

※販売店またはお客様相談窓口へご連絡していただき、速やかに新しいまもるくんに交換してください。



7. テスト方法

●1ヶ月に1度テストを行ってください。

取り付け後は定期的（1ヶ月に1度）、または3日以上留守にした場合は、テストボタンを押して、まもるくんが正常に作動するかテストしてください。

テスト前に、通電灯（緑）が点灯していることを確認してください。

テストボタンを押したときは、消灯します。

	警報音	2色LED（緑／赤）	
		通電灯（緑）	警報灯（赤）
正常時	ピピ、ピー、ピー、ピー	消灯	点灯
異常時※	ピピ、ピピピ	消灯	3回点滅

警報音を停止中にテストボタンを押すと、「ピピ」と鳴ります。

※煙感知部が劣化しています。販売店またはお客様相談窓口へご連絡していただき、速やかに新しいまもるくんに交換してください。

●FSKJ207-AS(-J)型では、外部接続機器との作動テストができます。

〈事前確認事項〉

・外部接続機器の種類を確認

・外部接続機器に添付の取扱説明書を参照し、動作を確認

※外部通報システムなどと接続されている場合は、通報先に事前連絡するなど、適切な対応を行ってください。

〈作動テスト〉

テストボタンを1回押すと、「ピピ、ピー、ピー、ピー」と鳴りますが、そのまま約7秒以上長押しし続けると、テストボタンを押している間は、外部接続機器が作動します。

※長押ししても外部接続機器が作動しない場合は、販売店またはお客様相談窓口へご連絡ください。

警告	**安定した台を使用すること** 安定した台に乗って作業してください。転落してけがをするおそれがあります。

8. 故障かな?と思ったら

まもるくんの症状とその原因、対処について下表に示します。

■何も操作していないときに…

症状	原因	対処
火災による煙がないのに警報音「ピー、ピー、ピー」と鳴る。	まもるくんが火災以外の煙などをキャッチしています。（埃、水蒸気、スプレーなど）	警報停止ボタンを押し警報を止め、煙感知部をうちわなどで扇いでください。
火災でないのに警報音「ピピピ」と鳴る。	まもるくんが劣化しています。	警報停止ボタンを約5秒以上長押しすると警報音が止まります。速やかに新しいまもるくんに交換してください。

■テストをしたとき（テストボタンを押したとき）

症状	原因	対処
何も音が鳴らない。（通電灯（緑）も消灯している場合）	ブレーカーが「切」になっていませんか? または、断線している可能性があります。	ブレーカーを「入」にしてください。
「ピピ、ピピピ」と鳴り、警報灯（赤）が3回点滅	煙感知部が劣化しています。	速やかに新しいまもるくんに交換してください。
「ピピ」と鳴り、警報灯（赤）が点灯または消灯	火災警報を停止中です。	約5分後、再度テストを行ってください。
「ピピ」と鳴り、警報灯（赤）が10秒間隔で3回点滅	機器異常の警報音を停止中です。	速やかに新しいまもるくんに交換してください。

※上記の対処を行っても直らない場合や新しいまもるくんへの交換は、お買い上げ販売店またはお客様相談窓口へご連絡ください。

9. お手入れ方法

●1年に1度お手入れを行ってください。

取り付け後は定期的（1年に1度）に中性洗剤を浸して十分に絞った布でまもるくんの汚れを拭き取ってください。

この際、煙感知部に触れないようご注意ください。

なお、著しく煙感知部が汚れている場合は、火災を感知できませんので、新しいまもるくんに交換してください。

施工説明書

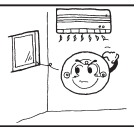
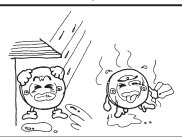
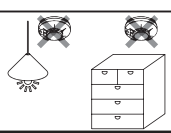
1. 施工上の注意点

安全にご使用いただくため、注意事項は必ずお守りください。
守らない場合に発生した破損・事故またはけがを負った場合、当社は一切の責任を負いかねます。

禁止事項		禁止行為であることを示します。 （左図は分解禁止です）
指示事項		行為を強制することを示します。 左図は「強制」（必ずしてください）を示します。

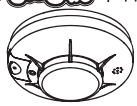
●安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される場合**
	配線工事や結線工事など取付/取外作業は、**電気工事士の資格を持った人が行うこと**
	活線工事はしないこと 感電・故障・発火の原因となります。 また、通電後、取り外したまもるくんの棒端子には触らないでください。残留電荷で感電するおそれがあります。
	まもるくんの取り付けは安定した台を使用すること 安定した台に乗って作業してください。転落してけがをするおそれがあります。

注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される場合**
	まもるくん は必ず正しい取付場所に取り付けること 次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因および正常に火災を警報できない可能性があります。
	暖房器具の近くなど、 燃焼性粒子の発生する場所 水蒸気が発生する場所
	**空気の流れが激しい場所** ・換気扇や扇風機、エアコンの近く ・すきま風の強いところ
	ほこりや虫の多い場所
	**浴室など、水のかかる場所 常時温度や湿度が高い場所** まもるくんは 0℃～ 40℃の温度範囲内で結露しない場所に設置ください。
	ガレージ、調理場などの、 火災でない煙、蒸気などが かかる場所
	**吊り下げ式の照明やタンスの真上**

2. 内容物のご確認

●次のものが揃っていることを確認してください。

①まもるくん本体（1個）


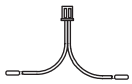
②取付ベース（1個）

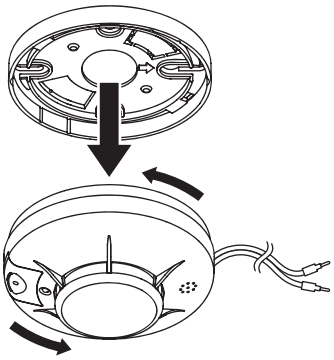
③取付ネジ（2本）

④取扱説明書・施工説明書（本書）
（保証書付）

⑤差込コネクタ（2個）

⑥専用電源シール

⑦移報コネクタケーブル
［FSKJ207-AS(-J)のみ］




まもるくんと取付ベースは一体となって出荷されます。

取付ベースを押さえ、まもるくん本体を左に回すと、まもるくん本体が外れます。

3. 設置場所について

●一般的な例を示します。

居室（寝室など）	台 所	階 段

注）住宅用火災警報器の設置場所は各市町村の火災予防条例により定められますので、設置場所は各市町村の火災予防条例をご確認ください。なお、各市町村の火災予防条例によっては台所にも住宅用火災警報器が必要であり、さらに各市町村によっては台所に熱式の設置が認められています。

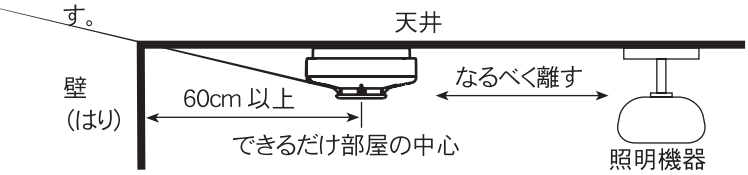
4. まもるくん の取付場所

● まもるくん は消防法により次のような場所への設置を義務付けています。

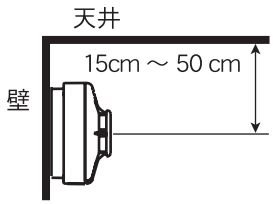
・寝室
・階段

※各市町村条例により居室、台所への設置も義務付けている場合がありますので、お近くの消防署にお問合せください。
なお、廊下などにも設置することをお勧めします。

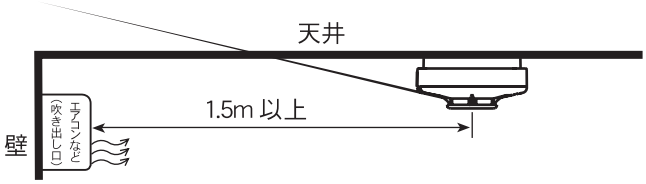
■天井面に取り付ける場合は壁やはりから水平距離 60cm 以上離します。



■壁面に取り付ける場合は天井面下 15cm から 50cm までの範囲で部屋の中心に取り付けてください。
警報停止ボタンが下になるように取り付けてください。

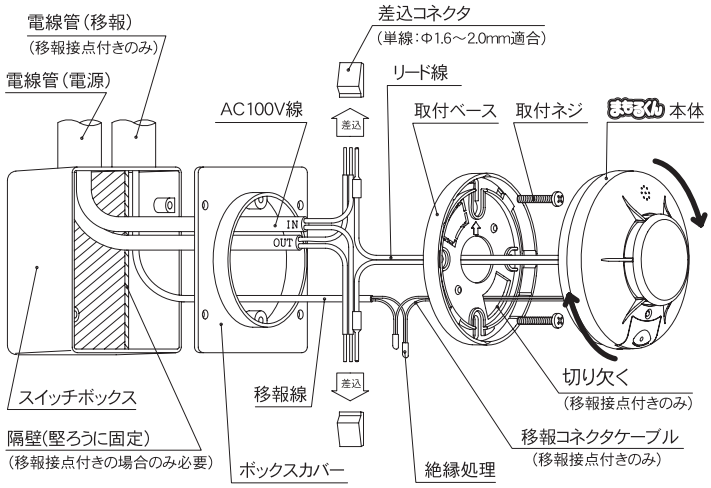


■換気口などの空気吹き出し口から 1.5m 以上離します。



●壁面設置の場合

次の図（参考図）のように設置してください。



※警報停止ボタンが下になるように取り付けてください。

5. 取付方法

●ボックス工事をしてください

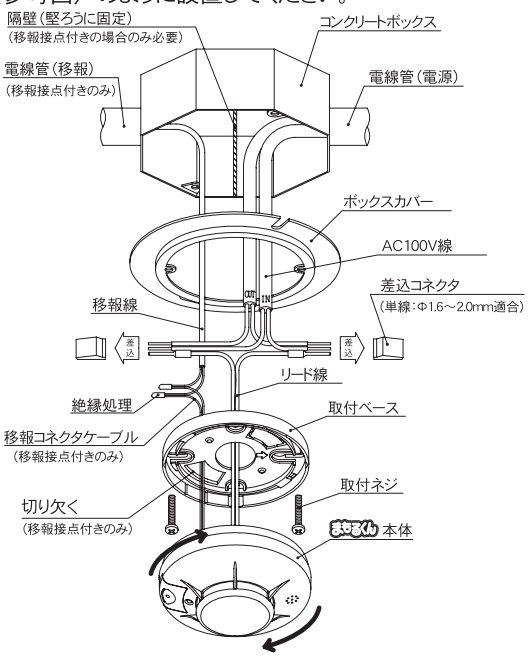
●分電盤とまもるくんとの間に開閉器を設けないでください
（まもるくんの電源は専用回路にすることをお勧めします）

●電気設備技術基準 第 5 章 189 条に従い、設置してください

〈説明〉
低圧屋内配線が弱電流電線（移報コネクタケーブル）と近接し、または交さする場合は、低圧屋内配線と弱電流電線との間に堅ろうな隔壁を設けたボックスの中に低圧屋内配線と弱電流電線とを収めて施設する。
ただし、ボックスおよび隔壁が金属製の場合は、金属部分に C 種設置を施す必要がある。

●天井設置の場合

次の図（参考図）のように設置してください。

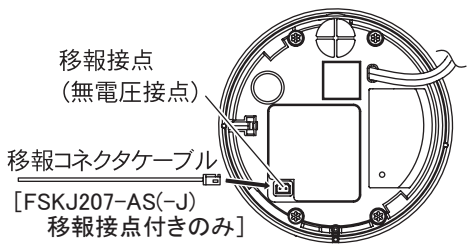


●移報接点を使用する場合

［FSKJ207-AS（-J）移報接点付きのみ］

・移報接点に、付属の移報コネクタケーブルを接続します。
・移報コネクタケーブルの末端を、接続機器の配線に圧着してください。

※移報接点に極性はありません。（接点容量 DC50V、100mA）
※結線部をコンクリートボックスへ収納する際には、AC配線と移報配線をセパレーターで分けてください。



6. まもるくんの作動確認

●まもるくん取り付け後は、必ず作動確認をしてください。
作動確認は、取扱説明書「7.テスト方法」の要領に従い実施してください。
外部接続機器がある場合は、それらの作動テストも行ってください。

設置されているまもるくんの作動確認をすること
設置されているまもるくんが正常に動作しているかテストボタンを使用し、確認してください。

7. お引渡し

●保証書に必要事項を記入してください。
●まもるくん本体の「設置年月」の記入箇所に日付を記入してください。
●専用電源シールを、まもるくんを配線したブレーカーに貼り付けてください。

8. まもるくんの廃棄について

●各市町村によって定められた回収ルールに従ってください。

警告　**まもるくん の取付/取外は、電気工事士の資格が必要となります。**

MEMO

9. 仕 様

型　　名 ※1	FSKJ207-AB(-J)［移報接点なし］ FSKJ207-AS(-J)［移報接点付き］
種　　別	住宅用防災警報器 煙式（光電式2種）
鑑定型式番号	鑑住第18～41号
定　　格	AC100V 80mA
電　　源	AC100V 50/60Hz
機器交換の目安	約10年 ※2
警 報 音 量	1mにて 70dB 以上
外 形 寸 法	φ98mm×41mm
質　　量	約 130g（取付ベース含む）
使用温度範囲	0℃～ 40℃（結露しないこと）
移 報 接 点 [FSKJ207-AS(-J)のみ]	無電圧 1a 接点 定 格：DC50V 100mA

※1．型名の末尾に「-J」が付くものはカラーがライトブラウン、付かないものはナチュラルホワイト。

※2．機器交換の目安は、使用温度や外部環境、使用条件によって短くなることがあります。

保証規定

1. 保証期間はお買い上げ日から 1 年間といたします。
2. 取扱説明書に記載している注意事項に従って使用し、かつ保証期間内に故障した場合、機器は無償で交換いたします（工事費は別途必要となります）。
3. 無償機器交換をご依頼される場合は、保証書をご用意いただき、お買い上げ頂いた販売店にご連絡ください。
4. 保証期間内であっても、次に定める事項に該当する場合の機器交換は有償とさせていただきます。
   イ）取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
   ロ）分解・修理・改造を行った場合
   ハ）お引越し後の輸送、移動、衝撃による故障や損傷
   ニ）水害、地震、落雷、その他の天災地変などによる故障や損傷
   ホ）保証書の紛失またはご提示のない場合
   ヘ）保証書中にお買い上げ日、お客様、販売店の記入欄に記入もれがある場合、または字句を書き換えられた場合
   ト）その他不正行為が発覚した場合
5. 保証書は再発行いたしません。

※保証書は日本国内においてのみ有効です。
※この保証書は保証規定に明示した期間、条件の元において無償機器交換をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の機器交換などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口にお問合せください。